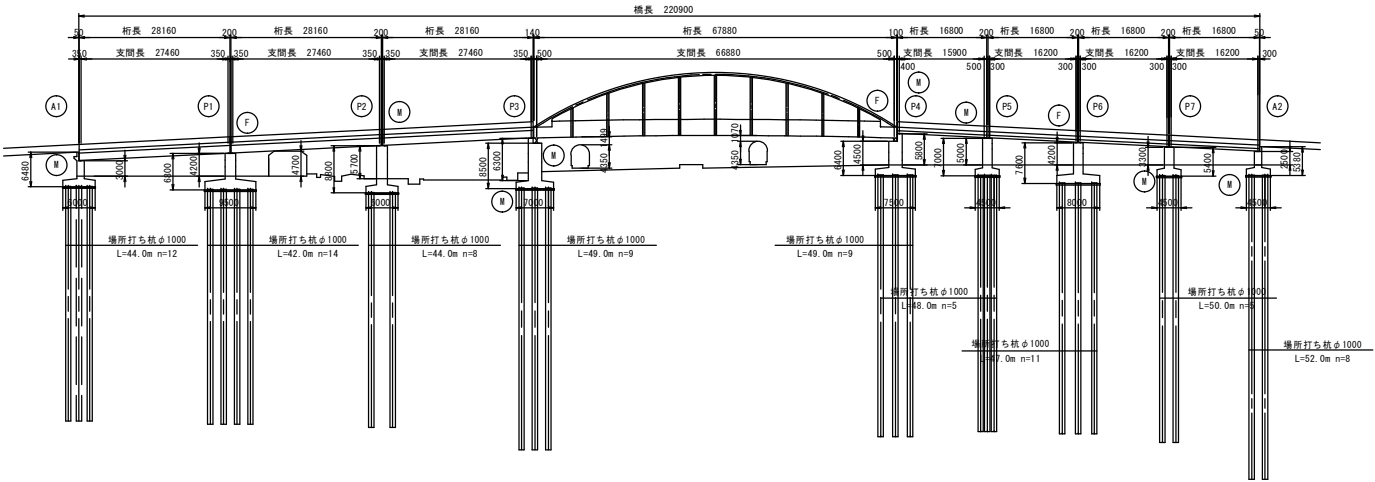


令和8年度 岩木町・飯沼橋補修 (新生大橋)3工区工事	
工事番号	土第2号
路線名	岩木町・飯沼線
施工箇所	五所川原市宇ツ谷外 地内
新生大橋	
現況一般図(その1)	縮尺 図示
図面番号	3葉中1
五所川原市	

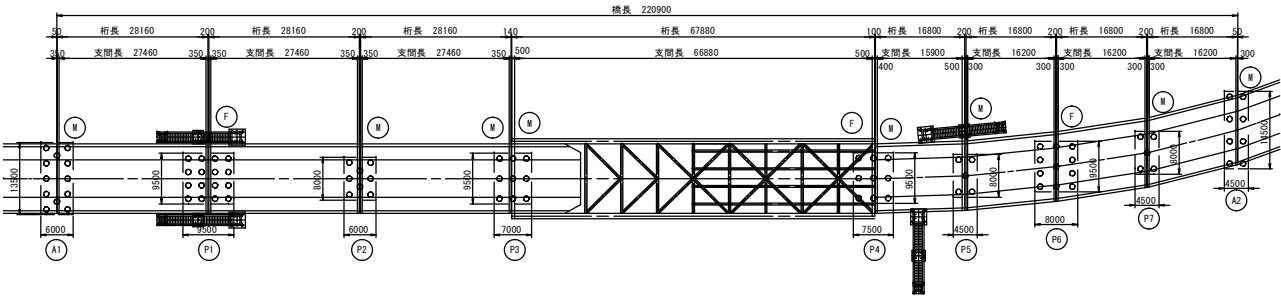
1/3

新生大橋 現況一般図(その1)

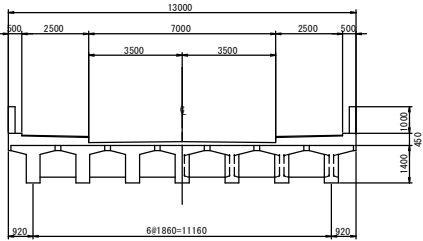
側面図 S=1:500



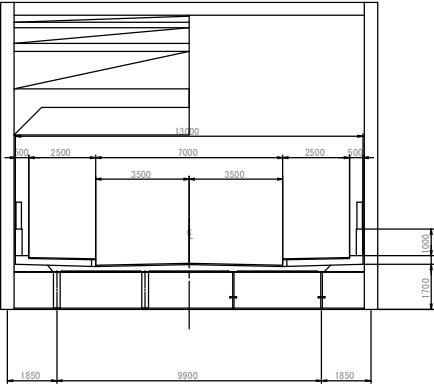
平面図 S=1:500



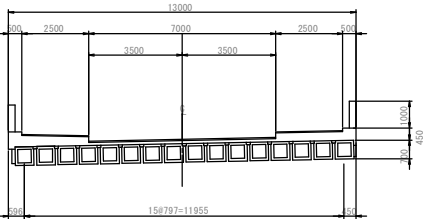
断面図 S=1:100
1~3径間



4径間



5~8径間



橋梁諸元

橋梁名	新生大橋
交差物件	JR五能線
上部工形式	PCボスチン3径間連続T桁・PCブレン4径間連続ホー桁
下部工形式	逆T式橋台・T型式橋脚
基礎形式	場所打ち杭
橋長	220.900m
斜角	A1:88° 09' 12" P1:90° 00' 00" P2:90° 00' 00" P3:90° 00' 00" P4:89° 30' 59" P5:85° 46' 26" P6:81° 57' 15" P7:76° 11' 47" A2:74° 19' 33" 道路CLとの角度(既存図より引用)
全幅員	13.000m
有効幅員	12.000m
舗装	50.0mm
架設年月日	1985年4月(360架設/34年経過)
活荷重	TL-20
適用示方書	昭和39年 道路橋示方書

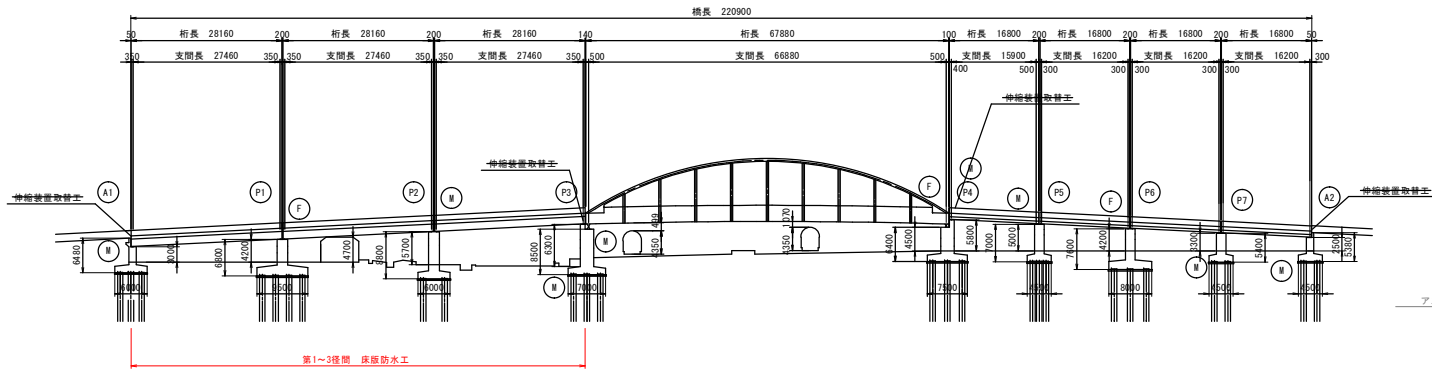
注記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和8年度 岩木町・飯詰線橋梁補修 (新生大橋)3工区工事	
工事番号	土第2号
路線名	岩木町・飯詰線
施工箇所	五所川原市宇一谷外 地内
新生大橋 補修一般図(その1)	縮尺 図示
図面番号	3葉中2
五所川原市	

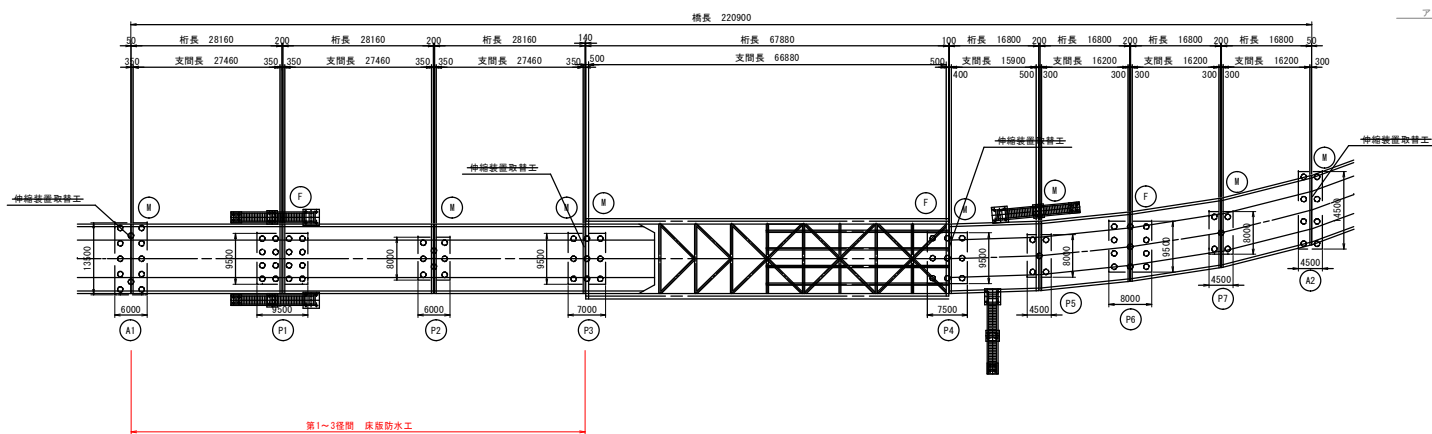
新生大橋 補修一般図(その1)

2/3

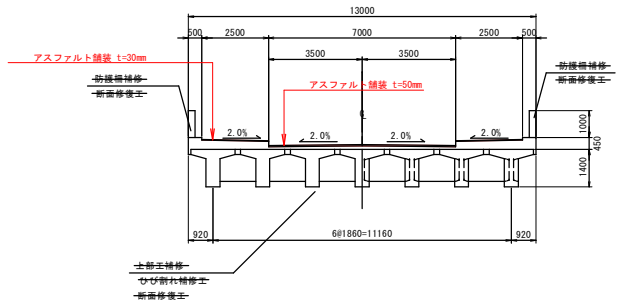
側面図 S=1:500



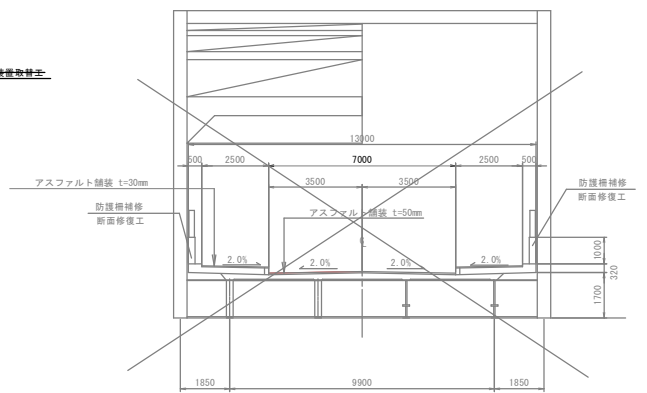
平面図 S=1:500



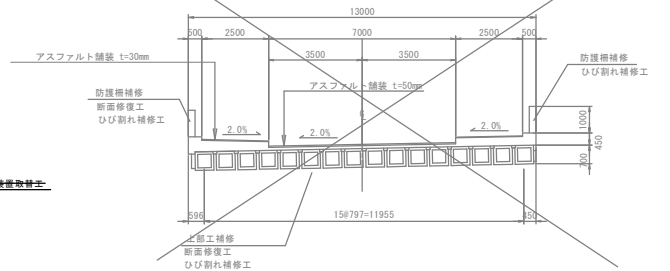
断面図 S=1:100
1～3径間



4径間



5～8径間



補修項目

工種	補修工法	備 考
上 部 工	伸縮装置取替工	取替工(A1～P3、P4～A2)
	床版防水工	複合防水工(第1～3径間)

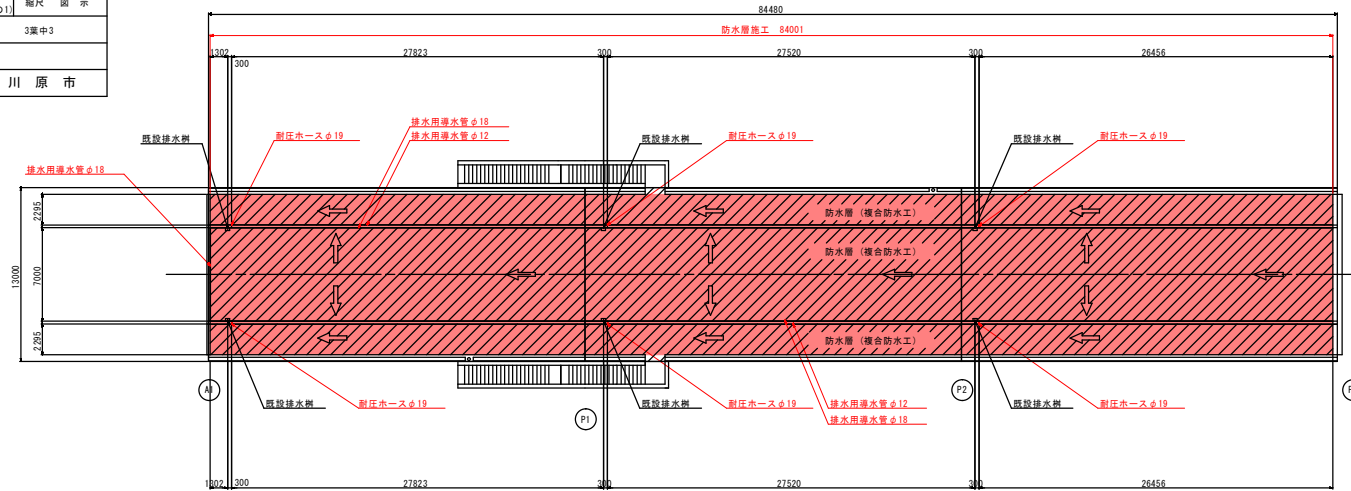
注 記
1. 本図面は、既存資料および現地測定をもとに作成した図面である。
2. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。

令和8年度 岩木町・飯詰橋橋梁補修 (新生大橋)3工区工事	
工事番号	土第2号
路線 河川名	岩木町・飯詰線
施工 箇所	五所川原市字一ツ谷外 地内
新生大橋 橋面防水工図(その1)	縮尺 図示
図面番号	3箇中3
五所川原市	

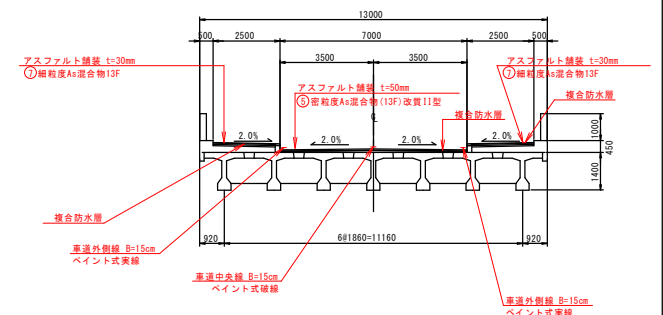
新生大橋 橋面防水工図(その1)

第1～3径間 S=1:200

3/3



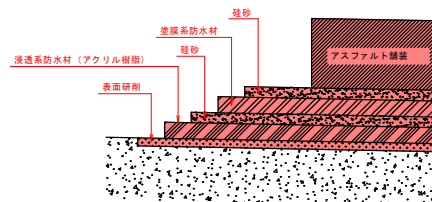
断面図 S=1:100



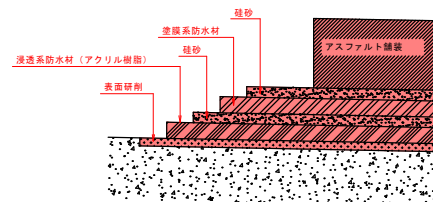
数量表

名 称	備 考	数 量
排水用導水管	φ12	168.0 m
	φ18 (控除前) L=175.0m	172.8 m
耐圧ホース	φ19	2.4 m
防水層	複合防水工 (控除前) A=974.41m ²	973.87 m ²
成型目地材 (t=5mm)	セロシールSS同等品以上 (控除前) L=527.21m	525.05 m
アスファルト舗装新設面積	① 細粒度As混合物13F t=30mm	386.40 m ²
	② 密粒度As混合物 (13F) 改質11型 t=50mm (控除前) A=588.01m ²	587.47 m ²
既設舗装撤去面積	t=30mm	386.40 m ²
	t=50mm (控除前) A=588.01m ²	587.47 m ²
現場削孔	φ20 (排水樹用)	6 箇所
無収縮モルタル	A=0.015m ³ t=50mm	6 箇所
コンクリートはつりエ	A=0.022m ³ t=50mm	6 箇所
車道外側縁 (実線) 白	W=150mmベイント式	168.0 m
車道中央縁 (破線) 白	W=150mmベイント式	42.0 m

複合防水工(車道部)詳細図

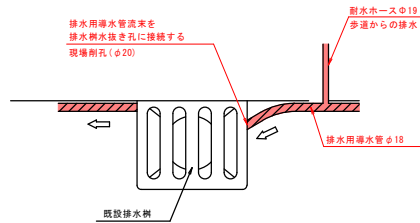


複合防水工(歩道部)詳細図

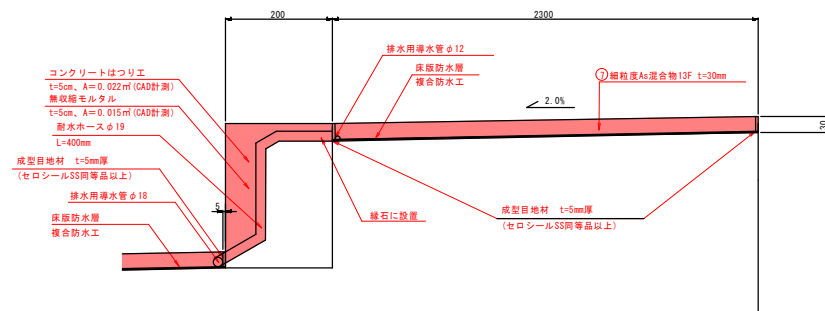


排水用導水管

排水樹部流れ処理詳細図



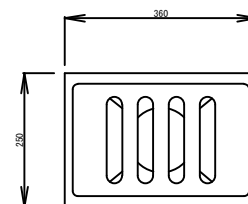
床版防水層詳細図 S=1:5



既設排水樹図

排水樹部控除面積
A= W × L × 箇所
A=0.36×0.25×6=0.54m²
※切削、防水、舗装 控除

排水樹部控除延長
L= W × 箇所
L=0.36×6=2.16m
※導水管φ18、成型目地材 控除



注記

- 本図面は、既存資料・現地検測をもとに作成した図面である。
- 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
- 資機材搬入・搬出時、仮設等については関係機関と協議を行うこと。
- 既存舗装は確実に撤去し橋面防水を設置すること。
- 床版への影響を考慮し、適切な施工をすること。
- 舗装撤去後に床版上面を点検し、コンクリート脆弱部は補修すること。
- 排水設置周りの防水層は、細心の注意を払って施工を行うこと。
- 排水樹に土砂溜まりがある場合は、土砂を取り除き清掃を行うこと。
- 区画線は現況と同様に復旧すること。